

## 2014年アジアジュニア選手権レポート (5)



金メダルを獲得したJM2xの古田選手（右：米子工業高校）と武田選手（左：美方高校）

## 9月6日

本日はJW1xとJM2xのFinal Aがあります。JM1xとJW2xはレースがないため、早朝モーションを実施しました。スタッフもふた手に分かれての動きとなりました。

レース組は6時起床→6時30分朝食→8時出発→レースへ向けての動き

レースのない組は6時起床→6時30分移動→アップ→7時水上→8時20分朝食。その後、レース応援といった流れです。

朝は比較的涼しく、波もありませんでした。気持ちよくトレーニングできました。



左上：アップをするJW2x（小原選手（筑波大学）、瀧本選手（館林女子高校））

左下：トレーニングをするJM1x高田選手（敦賀工業高校）

右：艇を出すJW2xの小原選手（筑波大学）と瀧本選手（館林女子高校）

いよいよFinal Aのレースです。

#21 10:00 (日本時間11:00) JW1x Final A

1. TPE, 2. KAZ, 3. KOR, 4. JPN, 5. INA, 6. VIE

JW1xの高島選手 (米子東高校) です。

高島選手 (米子東高校) はスタートから積極的に飛ばし500mをインドネシアについて2着で通過。1000mでは韓国に並ばれ3位に普段後半を得意とするがなかなか自分のレースはさせてもらえず、ラストクォーターへ。韓国、インドネシアが激しいトップ争いをするなか、高島選手を地元台湾が必死に追いかける展開へ。地元の応援も大きく、ゴール前で台湾に抜かれ4位に。

世界ジュニア選手権→ユースオリンピック→アジアジュニア選手権と海外レースを転戦してきた、高校二年生の高島選手。メダルこそ逃しましたが今日まで彼女が経験した全てが今後の競技生活にいかされるはずです。頑張りました！！



左：船台で古田コーチとミーティングするJW1xの高島選手 (米子東高校)  
右：スタート直後の様子。奥から4つ目が高島選手 (米子東高校)

## #24 10:45 (日本時間11:45) JM2x Final A

1. TPE, 2. HKG, 3. KAZ, 4. JPN, 5. IRI, 6. THA

続いて、JM2xの古田選手（米子工業高校）と武田選手（美方高校）が出場。スタートスプリントに自信のある武田選手と後半に絶対的な自信のある古田選手の融合です。

Final Aでは、スタートからスピードに乗り500mをトップで通過。しかし、イラン、カザフスタンもピッタリついてきます。

第2クォーターに入っても日本はスピードを緩めず、2位カザフスタンに2艇身の差で第3クォーターへ。

日本が独漕するなかカザフスタン、イラン、タイで激しい2位争い。カザフスタンが抜け出し日本を追撃する流れでラストクォーターへ突入。予選でもラストクォーターで課題が見られたが、カザフスタンの猛追がある中でも勇敢な二人は落ち着き、必死のラストスパート。追いかけるカザフスタン、逃げる日本。なんとか1艇身差でトップのままゴール！！

金メダル獲得です！！！！

ラストクォーターこそ苦しみましたが素晴らしいレースでした！！

本当にありがとうございました！！



左：Final Aへ向け蹴り出すJM2xの古田選手（米子工業高校）と武田選手（美方高校）  
右：スタート直後の様子。奥から3つ目が日本



左：独漕するJM2xの古田選手（米子工業高校）と武田選手（美方高校）  
右：レース終了後のJM2xの古田選手（米子工業高校）と武田選手（美方高校）  
下：表彰式の様子。



明日はJW2xとJM1xのFinal Aです。両クルーに金メダルの期待がかかります。

明日の組合せです。

#30 10:20 (日本時間11:20) JM1x Final A

1. PAK, 2. INA, 3. JPN, 4. HKG, 5. UZB, 6. TPE

#31 10:35 (日本時間11:35) JW2x Final A

1. HKG, 2. KOR, 3. JPN, 4. TPE, 5. KAZ, 6. IRI

ご声援よろしくお願いたします。